

国における「明治150年」関連施策

資料3-1

※予定・検討中の施策を含む。
※平成30年3月31日現在

【内閣官房】

番号	①施策名	②施策の概要
1	ロゴマークの作成・「明治150年」ポータルサイトの開設など広報の充実	明治150年の機運を醸成するため、平成29年8月31日に公募によりロゴマークを作成し、国、地方公共団体、民間の様々な取組への使用を促進している。 また、その広報を行うため、平成29年10月23日に「明治150年」ポータルサイトを開設し、イベントカレンダーやデジタルアーカイブ等のページで国、地方公共団体、民間の取組を紹介している。
2	「明治150年」アーカイブス（仮称）	平成29年7月28日に関係省庁による「「明治150年」アーカイブ連絡会議」を設置し、明治期をはじめとする歴史的な文書、美術品、写真・映像等について、収集・保存、デジタルアーカイブ化等の推進に向け、情報共有・施策の連携を行っている。 また、「明治150年」のポータルサイトで、各府省庁や大学等が保有する明治期に関連する歴史的資料などをオンラインで公開・展示して一体的に発信している。
3	「キックオフ地域イベント」の開催	「明治150年」にあたる平成30年の幕開けに、全国的な気運を高める目的で、国と地方公共団体が連携して「キックオフ地域イベント」を全国7カ所で開催した。 ・1月7日 京都市 「京都・明治150年シンポジウム～困難に立ち向かい、京都の未来を変えた市民の力～」 ・1月13日 新潟市（新潟開港150周年記念事業実行委員会） 「新潟開港150周年記念シンポジウム」 ・1月13日 岐阜県 「飛山濃水の文学 明治・大正・昭和の郷土作家11人」 ・1月17日 旧軍港市振興協議会（舞鶴市、横須賀市、呉市、佐世保市） 「明治150年・旧軍港市日本遺産フォーラム」 ・1月20日 萩市 「萩・明治維新150年オープニングイベント」 ・3月27日 奈良県 「「明治150年」記念事業 奈良県キックオフイベントシンポジウム」

【内閣府】

番号	①施策名	②施策の概要
1	明治150年特設ページの公開	国立公文書館所蔵の明治期公文書等について、館のホームページを通じて発信している。
2	国立公文書館における明治期公文書のデジタルアーカイブの充実	国立公文書館所蔵の明治期公文書の主な資料を対象に、利用頻度の高い資料のデジタル化、白黒画像のカラー化、未デジタル化文書のデジタル化を行い、その成果を分かりやすい形で提供している。

3	国立公文書館による地方公文書館のデジタル化事業への助言	国立公文書館において、明治期公文書のデジタルアーカイブ化に関して、地方公文書館に対して技術的な助言を行うとともに、デジタルアーカイブ整備後は、他の地方公文書館デジタルアーカイブとともに、国立公文書館デジタルアーカイブとの横断検索の実現に向けて作業を進めている。
4	明治期資料の記録保全と情報提供体制の構築	文書館、地方公共団体、民間その他の機関において、明治以降の国や社会の発展の歩みを跡づける歴史的な記録を保全するため、国立公文書館がデジタル化画像の複製を作成・収集するとともに、集約したデータを公開、提供する。
5	国立公文書館特別展の開催	国立公文書館所蔵の明治期の文書を中心とした明治150年記念特別展を開催し、立憲政治の確立に関する資料など、明治期の施策を跡づける貴重な資料を展示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月22日から11月4日 「明治150年」特別展「躍動する明治—近代日本の幕開け—」 このほか、同館において明治150年関連の展示及び明治期の重要な資料を所蔵している他機関と連携した展示についても推進する。 ・平成30年3月31日から5月6日 春の特別展「江戸幕府、最後の闘い—幕末の「文武」改革—」 ・平成30年5月26日から6月30日 第1回企画展「戊辰戦争—菊と葵の500日—」 ・平成30年11月20日から12月22日 第3回企画展 テーマ未定 ・平成31年2月から3月まで開催予定（於；兵庫県立歴史博物館） 館外展 「明治の兵庫（仮）」 ・デジタル展示「明治の学び（平成26年度第4回企画展）」（平成30年上半年公開予定）
6	インターネット特別展の開催	国立公文書館アジア歴史資料センターにおいて、明治時代を特集するコンテンツとして、岩倉使節団をテーマにした新しいインターネット特別展を平成30年10月に公開予定である。
7	明治期公文書の国立公文書館等へ移管の促進	各行政機関及び独立行政法人等において、明治時代に作成された公文書が保存されていないか総点検を行い、存在が判明した場合は、速やかに国立公文書館等への移管の措置を推進している。
8	地方創生推進交付金による地方の取組支援	「地方創生推進交付金」を活用し、地方公共団体が実施する地方創生にも資する「明治150年」に関連する取組を支援している。
9	「明治日本の産業革命遺産」を核とした産業遺産に関する理解増進	明治における日本の工業立国の土台を構築した「明治日本の産業革命遺産」を核とした産業遺産に関する価値について、関係省庁と連携して広く理解増進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコに提出した「明治日本の産業革命遺産」の推薦書のダイジェスト版を製本し、平成30年2月、3月に関係機関等に配布した。 ・外務省と連携し、平成30年3月にカナダのトロント大学及びカールトン大学において「明治日本の産業革命遺産」について講演した。

10	迎賓館赤坂離宮「明治150年特別参観」の実施	明治期に当時の建築や工芸美術の総力を結集して作られた迎賓館赤坂離宮において、大学教授や研究者による講演及び迎賓館本館ガイドツアーを行う「明治150年特別参観」を実施している。 平成30年2月13日、26日、3月19日、26日に実施し、4月以降についても実施を予定している。
11	明治150年記念「世界青年の船」事業	明治期以来の日本のグローバル人材育成の精神を再認識し、現代に活かすため、青年国際交流事業として、平成31年1月から3月に明治150年記念「世界青年の船」事業を実施する。
12	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議におけるパネル展示等	平成30年6月27日に「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」において、明治に活躍した女性に関する展示を行う。あわせて、ホームページにおける紹介も行う。

【警察庁】

番号	①施策名	②施策の概要
1	「明治150年」を冠した「全国警察柔道・剣道選手権大会」及び「全国警察柔道大会・全国警察剣道大会」の開催	日本武道館において「全国警察柔道・剣道選手権大会」及び「全国警察柔道大会・全国警察剣道大会」を、「明治150年記念」を冠して以下のとおり開催する。 ・平成30年9月25日 全国警察柔道・剣道選手権大会（個人戦） ・平成30年10月22日 全国警察柔道大会（団体戦） ・平成30年10月23日 全国警察剣道大会（団体戦）
2	都道府県警察における明治150年記念展示	長崎県警察本部広報スペースにおいて、平成30年3月16日から12月28日の間、明治以降における警察の歩みをデジタルサイネージにより紹介しているほか、各都道府県警察において関連展示の実施を予定している。
3	警察庁ウェブサイト「明治150年記念」特設ページの設置	警察庁ウェブサイトに「明治150年ポータルサイト」（内閣官房「明治150年」関連施策推進室ページ）へのリンクを掲載しているほか、随時、警察庁附属機関・地方機関、都道府県警察等における「明治150年」関連施策に係るページへのリンクを掲載する。

【金融庁】

番号	①施策名	②施策の概要
1	明治期における金融制度が果たした役割等の調査・シンポジウムの開催	銀行、保険会社、証券会社・取引所について、江戸時代からの制度の変遷や明治期において果たした役割等についての調査を踏まえ、平成30年9月6日に明治時代の金融制度が果たした役割をテーマとしたシンポジウムを開催する。
2	明治期の金融制度確立等に貢献した人物に関する調査・広報	平成29年度に明治期の金融制度の確立等に貢献した人物3名（外山脩三、矢野恒太、アレキサンダー・アラン・シャンド）の活躍を調査し、調査結果を平成30年4月中旬から10月末まで金融庁ウェブサイトの特設ページに掲載するほか、平成30年5月中旬～10月末まで庁舎広報スペースにパネル展示することにより広報を行う。

3	金融庁ウェブサイトをはじめ各種媒体を使った広報の実施	平成30年4月中旬から10月末まで金融庁ウェブサイトの特設ページを開設するとともに、平成30年5月中旬～10月末まで庁舎広報スペースにパネル展示することにより、上記の調査結果等について広報を行う。また、業界団体等の明治150年に関連する取組も広く紹介する。
4	業界団体における「明治150年」関連施策の支援・協力	業界団体等が開催する明治期と関係するイベント等について、後援等の支援・協力を行う。

【消費者庁】

番号	①施策名	②施策の概要
1	明治期の消費者志向の取組発掘プロジェクト	明治期の企業の消費者志向の取組（例：創業者の遺訓等の経営の精神）について調査・発掘を行い、取組事例のデジタルアーカイブ化を行う。 また、その結果を踏まえ、平成30年11月頃（予定）に消費者志向の経営を促進するためのシンポジウムを開催し、「明治150年」関連講演等を行う。
2	近代日本のくらしから現代の消費者問題を考える調査・広報	平成29年12月号から30年3月号まで、毎月、（独）国民生活センター発行のWeb版専門月刊誌「国民生活」において、連載記事「明治時代の生活に学ぶ」を掲載した。平成30年度においても、引き続き4月号から8月号まで連載記事を掲載し、平成30年度上期にはその内容のデジタル展示を行う。また、（独）国民生活センターにおいては、平成30年2月27日に、「平成29年度全国消費者フォーラム 私たちの暮らしと消費者問題－明治150年を迎えて－」を開催した。 平成30年度は、引き続き、明治以降のくらしから現代の消費者問題に通じる事象について調査を実施し、平成30年7月発行予定の調査研究誌「国民生活研究」に調査報告を掲載する。
3	各種機会を活用した広報	各種行事や地方説明会、関連団体での資料展示等を通じ、明治期の消費者志向の取組発掘プロジェクト、近代日本のくらしから現代の消費者問題を考える調査・広報の取組の周知・広報を行い、明治150年に係る機運を醸成する。平成30年度上期には、（独）国民生活センターにおけるデジタル展示を行う予定である。
4	消費者庁ホームページ、メールマガジン、twitterを活用した広報	消費者庁のホームページ、消費者庁Weekly、消費者庁twitterを通じて、明治期の消費者志向の取組発掘プロジェクト、近代日本のくらしから現代の消費者問題を考える調査・広報の取組の周知・広報を行い、明治150年に係る機運を醸成する。 平成29年12月より、毎月、消費者庁メールマガジン「消費者庁Weekly」を活用し、消費者庁の「明治150年」関連施策の広報を行った。

【復興庁】

番号	①施策名	②施策の概要
1	被災地からの復興に関連した、明治期と関係するイベント等の後援等	被災地からの復興に関連して、明治期と関係するイベント、行事等を開催する機関・団体等があった場合には、後援等を行う。 （事例） 30年3月18日に実施されたふくしま復興を考える県民シンポジウム2018に対し復興庁の後援を実施した。

2	各種行事などの機会を活用した広報協力	各種行事などの開催の機会を活用し、明治150年関連の取組の広報などに協力し、明治150年に係る機運を醸成する。
3	ホームページ、メールマガジン、SNS等の各種ツールを活用した広報	<p>ロゴマークの使用促進等、政府の明治150年関連施策について、復興庁のSNSを通じて周知を図っていると同時に、また、被災地からの復興に関連して、明治期と関係するイベント、行事等を開催する企業があった場合に、復興庁のメールマガジンにおいて内容の紹介、発信等を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月に関係自治体、企業等にロゴマークの使用促進等を周知した。 ・平成29年10月25日に「復興N便～産業復興支援メールマガジン～」にてロゴマークの使用促進等を周知した。 ・復興庁ホームページにおいて明治150年公式ホームページへのリンクを掲載している。

【総務省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	放送コンテンツの制作・展開の支援	<p>明治150年に関する放送コンテンツを民間事業者等が制作し、展開する取組を支援する。</p> <p>平成30年3月30日 「放送コンテンツ海外展開総合強化事業」に係る間接補助事業の公募開始</p>
2	地域における明治期の文化財のデジタルデータ化支援	<p>地方公共団体が行う歴史資料等のデジタルデータ化に対して地方交付税措置を講じ、明治150年に関連する取組として実施する以下のようなものを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の美術館・博物館等に収蔵されている有形文化財のデジタルデータ化 ・地域の祭礼等の無形文化財のデジタルデータ化
3	地域における明治期の歴史文化資産の活用支援	<p>地方公共団体が行う個性的で誇りに満ちた地域社会の形成に資する歴史文化資産の保存・活用に対して地方財政措置を講じ、明治150年に関連する取組として実施する以下のようなものを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護法により指定された有形文化財、重要文化財、国宝等の取得、保存および周辺整備 ・住民が地域の歴史文化資産とふれあう場等の整備 ・歴史的建造物・街並みの保存および周辺整備
4	地方公共団体を実施する「明治150年」関連施策に対する支援	<p>地方公共団体が地方単独事業として実施する「明治150年」関連施策に位置付けられた以下の施策について、特別交付税措置を講ずる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治以降の歩みを次世代に遺す施策 ・明治の精神に学び、更に飛躍する国へ向けた施策
5	「明治150年」記念切手等の推薦	<p>明治150年を国内に周知することを目的として、日本郵便（株）による「明治150年」記念切手が発行されるよう協力し、平成30年10月23日に明治150年を題材とした特殊切手が発行される予定である。また、北海道が平成30年に実施予定の北海道150年事業が「明治150年」に関連して実施されることを踏まえ、北海道が記念切手の発行依頼をするための推薦を行い、平成30年7月13日に北海道150年を題材とした特殊切手が発行される予定である。</p>

6	統計関連古書のデジタルアーカイブ化の推進	統計図書館が所蔵する統計関連の古書について、明治時代からの代表的な書籍をデジタル化して、平成30年10月に統計局ホームページ上に掲載・展開し、広く閲覧できるようにする予定である。
7	明治期の統計資料に関する講演会・展示の実施	明治期の統計資料について、次のとおり取組を実施する。 ・統計資料館において、平成30年の「統計の日」（10月18日）にあわせて明治時代の資料を含めた古資料を展示する。 ・平成30年3月6日に「杉亨二と統計—維新を生きた蘭学者」と題する講演会を開催した。 ・平成30年10月に新宿西口イベント広場で開催予定の「統計データ・グラフフェア」や平成30年11月に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催予定の「第68回全国統計大会」の機会を活用し、政府統計に関する明治時代の資料を含めた展示などを実施予定である。
8	明治期の消防の歴史等に関する取組	消防庁において、明治150年に関連した企画展示等の開催に対して後援を行うことにより、消防博物館はじめ全国の防災学習施設等の取組を促進する。また、平成29年版消防白書に、明治以降の消防の歴史に関する紹介ページを設けた。
9	電信電話の歴史に関する展示	明治時代に始まった電信電話制度の歴史に関する展示等を実施予定である。
10	恩給制度の歴史に関する展示	平成30年10月頃に我が国で最も古い年金制度である恩給制度の資料展示を行う。
11	自治大学校「明治150年記念・地方自治講演会」の開催	平成30年10月27日（金）に、自治大学校卒業生等を対象に作家の童門冬二先生を招聘して「維新と自治体」と題する記念セミナーを開催した。
12	公害等調整委員会Web誌「ちょうせい」を活用した広報	公害等調整委員会の広報誌「ちょうせい」（平成30年8月又は11月発行号）において、明治以降に発生した公害と、その後、公害紛争処理法等の制定を振り返りつつ、現在の公害等調整委員会の動向を紹介し、公害紛争処理制度の周知・広報を実施する。
13	総務省ホームページ	平成30年1月に、明治4年に創業した郵便事業制度の変遷や、明治時代からの無線通信の制度、明治時代を中心とした恩給制度などについて、広報誌「総務省」1月号に掲載し紹介するとともに、同紙を総務省ホームページに掲載した。 平成30年4月に、明治150年ポータルサイトのバナー（リンク）を総務省ホームページに掲載した。
14	広報誌「総務省」を活用した明治150年記念事業の広報	平成30年1月に、広報誌「総務省」で特集記事を掲載し、鹿児島県、京都市、静岡市及び横浜市の実績を紹介し、地方公共団体の取組に関する周知・広報を実施した。
15	地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト）	平成30年度に産学金官の連携により、地域の資源と資金を活用して、雇用吸収力の大きい地域密着型企業の立ち上げを支援する。明治150年関連施策に関する事業であって、全くの新規分野における事業の立ち上げであり、新規性・モデル性の極めて高い事業については、地方公共団体に対して国費10/10により支援する。

【法務省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	重要文化財である法務省赤れんが棟内の法務史料展示室等における展示の充実・イベントの開催	「明治150年」特集展示として、平成30年夏頃に①重要文化財である赤れんが棟建築資料の展示、②初代司法卿 江藤新平をはじめとする我が国の司法制度の基盤形成に大きく貢献した偉人にスポットを当てる展示、③「明治150年」を機に新たに選定する明治期に編纂された法典等に関する貴重書の公開を中核として、司法の近代化をメインテーマとする充実した内容の特集展示を行う（他省庁の展示企画とも連携したパッケージ企画として行うことも検討。）。あわせて、国民が我が国の近代化に当たり法整備が重要な役割を果たしたことを想起できるよう、平成30年10月6日に「明治150年」イベントとして、著名な大学教授を招いて「司法の近代化」をテーマとする講演、研究者らの有識者を招いたパネルディスカッション、赤れんが棟見学ツアーなどを開催する。
2	重要文化財 旧奈良監獄の公開・活用	明治政府が監獄の国際標準化を目指して建築した五大監獄の一つである旧奈良監獄について、コンセッション方式を活用して保存・活用事業を実施する。運営権を民間事業者売却し、資料の保存にとどまらない広報価値の最大化を図る史料館運営を行うほか、同事業者の提案に基づく付帯事業として、ホテル等として活用する。このため、平成29年12月8日に法務省と民間事業者との間で公共施設等運営権実施契約を締結した。今後、平成31年10月31日に史料館開館予定であるとともに、平成33年1月31日までに改修工事を完了予定である。
3	「法の日フェスタ」における明治150年関連イベントの実施	法の日週間（10月1日から10月7日）記念行事として、最高裁判所、法務省・最高検察庁、日本弁護士連合会の法曹三者が共催して実施している「法の日フェスタ」において、最高裁判所、法務省・最高検察庁において実施するイベントについて明治150年記念を冠するとともに、平成30年10月6日に明治150年に関連したイベントを実施する。
4	後援等による取組支援	法務省の施策と関連し、かつ明治期と関連するイベント、行事等を開催する団体等に対する後援を行い、取組を支援する。

【外務省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	デジタルアーカイブ「明治150年記念 外交史料館所蔵史料の紹介と国書・親書でたどる近代日本と諸外国との外交関係」	明治維新以降の我が国の近代化の一側面を示す幕末から昭和にかけての外交史料館所蔵史料を検索サービスにより紹介する。また、諸外国の元首から送られた戦前期の国書・親書（約1,100点）をデジタル化し、近代日本が諸外国と外交関係を構築した経緯を、画像などを見ながら辿れるようインターネット上でデジタルアーカイブとして公開する。
2	明治150年関連の広報動画作成	現代日本で見ることのできる明治の史料等から、日本には150年前から、民主主義及び法の支配等の普遍的価値の源流があったことを紹介する動画を日本語及び外国語で作成し、平成30年1月9日よりウェブサイト上への掲載等を通じて発信している。

3	JICAと大学等との連携を通じた日本の開発経験の共有（JICA開発大学院連携）	途上国の発展への貢献及び親日派・知日派人材の育成強化を目的として、JICAと各大学との連携を抜本的に強化する。具体的には、多くの大学で既に行われている各種留学制度を活用した人材育成プログラムについて、平成30年秋に日本の近代化とODAの経験に関する講義を設置し、カリキュラムの調整・拡充を行う。
4	明治150年に関連するセミナーの海外における開催及び民間有識者の海外派遣による講演会の実施	海外において、現地のシンクタンク等の協力を得つつ、日本の民主主義の成立過程や近代化の過程、明治期の歴史に焦点を当てたセミナーを開催し、戦前から構築されてきた我が国の自由・民主主義的な社会への理解の深化を図る。また、民間の有識者を海外に派遣し、明治150年に関連する内容の講演会を実施することで、日本社会への理解の促進を図る。
5	海外研究機関等と協力して行う、明治150年関連の研究結果公表	海外において、現地のシンクタンク等の研究機関と協力し、日本の民主主義の成立過程や近代化の過程、明治期の歴史に焦点を当てた研究を行い、その成果を広く公表する。
6	ジャパン・ハウスを活用した関連イベントの企画	ロンドン、ロサンゼルス、サンパウロの3都市のジャパン・ハウスにおいて、明治維新や日本の近代化に関連したイベントを実施するよう準備を進める。
7	外務省外交史料館と北海道立文書館との連携展示	外交史料館と北海道立文書館が共催で、両館の所蔵史料を活用し、平成30年7月から8月頃に、北海道立文書館において「明治150年＝北海道150年」にちなんだ展示会を行う。
8	巡回展「明治150年記念 近代日本の対外関係展（仮）」の実施	外交史料館が所蔵する戦前期の条約書や国書・親書等の中から、我が国と欧米諸国との外交関係上、特に重要なものについてレプリカを作成し、外交史料館において、平成30年1月11日から5月31日まで「明治150年記念展示 国書・親書にみる明治の日本外交」を開催し、展示しているとともに、平成30年度中に、次回の明治150年記念展示を開催することを予定している。また、平成30年度中に地方都市においても展示会を行う予定としている。
9	海外での明治150周年関連の文化事業の実施	海外において、在外公館や国際交流基金を通じて明治にゆかりのある日本の技術や文化に焦点を当てた文化事業を実施する。具体的には、明治期の精巧な工芸品を出発点に、今日の高度な技術等を紹介する巡回展を、平成30年3月にドイツで実施した。今年度中に複数国を巡回予定である。

【財務省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	記念貨幣の発行の可能性について検討	明治150年を記念する貨幣の発行の可能性について検討する。

2	日本銀行貨幣博物館における「明治150年」記念展示企画の開催等	日本銀行貨幣博物館における「明治150年」記念展示企画の開催するよう準備を進めている。
3	独立行政法人造幣局及び国立印刷局の博物館における特別展の開催	<p>独立行政法人造幣局及び国立印刷局の博物館において、明治をテーマに、明治期の貨幣、紙幣、設備等の収蔵品を展示する特別展を以下のとおり開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造幣局「造幣博物館」 明治150年記念特別展 ～明治期の造幣局～ <ul style="list-style-type: none"> I期 平成30年1月4日から3月31日 造幣局の誕生 ～創業の功労者たち～ II期 平成30年4月18日から6月30日 明治天皇の造幣局行幸 III期 平成30年7月から9月 造幣局で働く人たち IV期 平成30年10月から12月 旅する外国人 ウィリアム・ガウランド ・国立印刷局「お札と切手の博物館」 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年12月19日から平成30年3月4日 明治150年関連施策特別展『日本近代紙幣の礎となった男たち－明治150年 印刷局はじまりの物語－』 ・平成30年3月27日から4月22日 博物館ミニ展示『キヨッソーネの描いた西郷どん』 ・平成30年5月8日から7月16日 博物館ミニ展示『江戸から明治へ－明治の技術革新－』 <p>※年間を通じて「明治150年」関連展示等を実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造幣局、国立印刷局 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月11日から～17日 第41回「お金と切手の展覧会」弘前展
4	税関広報展示室等における特別展示	<p>各税関の広報展示室等において、特別展示として、明治期を中心に税関の歴史にちなんだ文書、資料等の展示を行う。</p> <p>平成30年1月から12月 東京税関広報展示室、横浜税関資料展示室、名古屋税関広報展示室、大阪税関広報展示室、神戸税関広報展示室</p> <p>平成30年3月下旬から12月 門司税関広報展示室</p> <p>平成30年4月下旬から12月 長崎税関広報展示室</p> <p>平成30年5月、9月、11月 沖縄地区税関広報展示室</p> <p>平成30年11月中旬から月末 函館市立中央図書館</p> <p>平成30年12月 函館税関資料展示室</p>
5	租税史料室における明治150年関連展示	平成29年10月2日から平成30年9月27日に「明治150年関連展示 明治維新と租税の近代化」と題して、租税史料室の特別展示を行う。

6	造幣局本局「桜の通り抜け」及び造幣局広島支局「花のまわりみち」	平成30年4月に開催する構内の桜の一般公開にあわせ、来場者に対して明治期にちなんだ施設等を紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月11日から17日 「桜の通り抜け」（造幣局本局） ・平成30年4月13日から19日 「花のまわりみち」（造幣局広島支局）
7	税務大学校、造幣局及び国立印刷局による連携企画（公開講座）	平成30年6月2日に税務大学校和光校舎において、国税庁税務大学校、独立行政法人造幣局及び独立行政法人国立印刷局の連携企画として、「税務署・造幣局・国立印刷局の誕生と歩みを振り返る」と題し、明治初・中期の各機関が担った役割について、公開講座を開催する。

【文部科学省・スポーツ庁】

番号	①施策名	②施策の概要
1	大学図書館が所蔵する明治期コレクション企画展示の実施	明治期の技術や文化に関する遺産に触れる機会の充実のため、大学図書館が所蔵する明治期のコレクションを活用した企画展示等を、国立公文書館や関係機関と連携して実施する。連携内容としては、国立公文書館において平成30年9月22日から11月4日まで開催予定の「明治150年」記念特別展と時期を合わせた展示会の開催やポスター・チラシ等の共有による相互PRを行う。平成29年度より各地で「明治150年」に向けた関連企画展示等が開催されており、「明治150年」となる平成30年度も各大学図書館において実施予定。
2	明治150年を冠した「国民体育大会」及び「全国障害者スポーツ大会」の開催	平成30年9月から10月に福井県で開催される「第73回国民体育大会」及び「第18回全国障害者スポーツ大会」に、「明治150年記念」を冠し開催する。
3	第73回国民体育大会文化プログラムにおける「明治150年」関連展示の実施	第73回国民体育大会の開催に合わせて、平成30年4月から12月に、明治150年に関連した展示等を国民体育大会文化プログラムとして実施する。
4	第73回国民体育大会特殊切手発行	国民体育大会の開催を記念して発行される特殊切手に「明治150年記念」などと記すことを日本郵便に採択依頼を行い、平成30年8月29日に第73回国民体育大会を題材とした特殊切手が発行される予定である。
5	ICOM（国際博物館会議）京都大会2019に関連するイベントにおける「明治150年」記念ブースの設置	日本では初の開催となるICOM（国際博物館会議）の3年に1度の世界大会であるICOM京都大会2019（平成31年9月）の関連イベント等（平成30年11月末東京・上野）において、日本紹介ブース内に明治150年を記念した展示の実施を検討する。
6	国立女性教育会館による「明治150年」企画展の実施	平成30年1月26日から9月9日までの期間、女性アーカイブセンター展示室において、明治時代に出版された女性教育に関する資料や女性アーカイブセンターの所蔵する資料など、明治期に関連するものについて展示を行う。
7	国立科学博物館による「明治150年」記念展示や講座の開設	国立科学博物館において、明治150年に関連した企画展示（日本を変えた千の技術博平成30年10月30日から平成31年3月3日）や、大学生を対象とした講座の開設、展示会場における明治150年記念トークの開催などを実施する。

8	明治150年記念「教育に関するシンポジウム」の開催	明治期以降現代に至る教育に関する変遷や特徴等を取り上げるとともに、これからの教育の展望の検討に資するシンポジウムを行う。
9	明治期教科書等教育資料のデジタルアーカイブ化	平成30年秋頃を目途に明治期の小学校教科書等教育資料についてインターネットで本文画像を閲覧できるサービスを提供する。
10	明治以降の学校建築に関する展示企画・シンポジウムの開催	国立大学等が所有している重要文化財や登録文化財など、文化的価値を有する学校建築に関する企画展示を開催する。 また、明治以降、現代にいたるまでの学校建築の変遷を辿るシンポジウムを開催する。
11	スーパーグローバル大学創成支援事業採択校などにおける「明治150年」関連シンポジウム・講座等の開催	スーパーグローバル大学創成支援事業採択の大学などにおいて、日本人学生と留学生とが共に日本の明治期の近代化経験等について学ぶためのシンポジウム・講座等を開催している。 事例： ・創価大学「Economic Development of Japan」を開講（平成29年度後期） ・熊本大学 国際シンポジウム「近代日本の地域劇場が果たした役割」（平成30年03月13日）
12	「明治150年」記念統合的気候モデル高度化研究プログラム公開シンポジウムの開催	明治期に気象観測を開始した研究者の功績を辿りながら、現在に至るまでに収集された観測データを活用した過去150年の気候再現実験の実施により得られる効果について考えるシンポジウムの開催する。
13	庁舎内ミュージアム「情報ひろば」における展示	平成30年9月に庁舎内の「情報ひろば」において、明治150年に関する企画ブースを設置し、明治期の資料（当時の教科書等）を展示する。
14	日本科学未来館による明治150年に関連したブログ記事の発信	日本科学未来館が発信する科学コミュニケーターによるブログサイト等で「明治150年」と関連したテーマや科学技術にちなんだ記事を掲載・発信する。
15	国立歴史民俗博物館における無料観覧の実施	国立歴史民俗博物館において、多くの人に明治期の常設展等を見てもらい、明治150年を考えてもらうきっかけとするため、平成30年度秋頃に無料入館日を設ける。
16	文部科学白書での明治150年関連施策の紹介	平成29年度文部科学白書において、文部科学省で実施する明治150年関連施策を紹介するページを設ける。

【文化庁】

番号	①施策名	②施策の概要
1	東京国立近代美術館における展示企画	明治150年を迎えるのにあわせ、明治期の作品の特集を組んだ所蔵作品展の開催や、明治期から活躍した日本画家をテーマとした企画展の開催する。 ・平成30年3月1日から5月27日 「工芸館開館40周年記念所蔵作品展 名工の明治」 ・平成30年4月13日から5月27日 「生誕150年 横山大観展」

2	京都国立近代美術館における展示企画	<p>明治150年を迎えるのにあわせ、明治期の日本画、洋画、工芸を主とした企画展の開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月20日から5月20日 「明治150年展 明治の日本画と工芸」 ・平成30年6月8日から7月22日 「生誕150年 横山大観展」
3	国立映画アーカイブにおける上映企画	<p>国立映画アーカイブが所蔵する明治期に関する日本映画作品の上映する。</p> <p>国立映画アーカイブ開館記念 映画にみる明治の日本</p> <p>第1期：2018年4月24日から5月13日</p> <p>第2期：2018年8月14日から9月2日</p>
4	東京国立博物館における展示	<p>明治維新以来の近代美術の変遷をテーマに、万国博覧会に出品された作品や皇室技芸員の優れた技があらわれた作品を中心に展示する。また、明治を生きた人々の書や明治の人物、都市、自然などを描いた絵画作品を紹介する特集を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月2日から12月25日 「近代の美術」 ・平成30年7月10日から9月2日 「書と絵が語る明治」
5	九州国立博物館における展示	<p>平成30年10月2日から12月9日に明治期の近代化の進む中で、日本美術を保護し、わが国初の私立美術館を設立した大倉集古館に関連する展示、明治150年記念特別展「オークラ コレクション」を開催する。</p>
6	独立行政法人日本芸術文化振興会における公演・展示等	<p>国立劇場、国立能楽堂、国立文楽劇場等において、明治150年に関連する（明治150年を記念する）公演、展示等の開催する。</p> <p>平成30年3月3日から27日 3月歌舞伎公演「増補忠臣蔵－本蔵下屋敷－」・「梅雨小袖昔八丈－髪結新三－」等の黒煙、展示等の開催</p>
7	文化庁芸術祭	<p>平成30年10月1日～11月30日に開催する文化庁芸術祭において、明治150年記念の趣旨に沿った公演企画を募集する。</p>
8	文化庁メディア芸術祭	<p>文化庁メディア芸術祭を平成30年6月13日から24日に開催するにあたり、明治150年を記念するアニメやマンガ等の特別展示の検討や、関連機関等とのシンポジウムやトークイベントなどの企画を行う。</p>
9	国民文化祭	<p>平成30年度に大分県で開催する国民文化祭において、大分県立先哲資料館と大分県立歴史博物館にて、明治150年関連の特別展を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（大分県立歴史博物館）平成30年10月5日から11月11日「福沢諭吉-独立自尊へといたる道-」 ・（大分県立先哲史料館）平成30年10月6日から11月25日「日本の近代と大分の先哲」

10	補助事業による明治150年関連事業への支援	文化庁の各種補助事業を活用し、地方公共団体や文化芸術団体等が、明治150年関連施策として実施する、文化財修復や文化財公開事業、シンポジウム、公演、文化芸術イベント等（国宝・重要文化財建造物や世界文化遺産に関係する事業等を含む）を支援することを検討するとともに、支援対象事業を明治150年記念事業として位置づける。
11	京都が行う記念行事等への協力・支援	平成30年1月7日に京都市が行った京都・明治150年シンポジウムに対して広報協力等を行った。

【厚生労働省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	検疫に関する歴史的資料等のデジタルアーカイブ化の実施	明治期から続く日本の検疫制度の重要性や意義などについての理解を深められるよう、平成30年7月頃に明治期以降の検疫の歴史を伝えることができる資料をデジタルアーカイブ化し、広く国民に広報を行う。
2	検疫資料館等を活用した検疫に関する歴史的資料等の公開イベントの実施	「海港虎列刺（コレラ）病伝染予防規則」の公布された日（明治12年7月14日）を記念した検疫記念日を中心に、感染症の疑いがある者を停留させた施設として明治期から遺る横浜検疫所検疫資料館等を活用し、検疫に関する重要な資料等を一般公開し、明治期以降の検疫の歴史を振り返る。
3	日本赤十字社における関連施策の実施	平成30年10月から11月頃に、日本赤十字社本社の常設展示場「赤十字情報プラザ」において、明治期に関する関連資料の特別展示を行うとともに、日赤が会員向けに発行している新聞での特集号の刊行、日赤ホームページにおいて明治期の写真や文献の掲載を行う。
4	国立感染症研究所における明治期の感染症対策に関するシンポジウムの開催	国立感染症研究所において、明治期以降の感染症対策をテーマとしたシンポジウムを平成30年5月21日に開催する。
5	老人の日・老人週間における行事を活用した「明治150年」関連キャンペーンの実施	老人福祉法に定める老人の日及び老人週間では、①国民の間に老人の福祉への関心と理解を深める、②老人が自らの生活の向上に努める意欲を促すことを目的として、各地でさまざまな行事やポスターの掲示などの広報活動を行っており、平成30年9月に「明治150年」を記念した取組を実施する。
6	広報誌「厚生労働」、厚生労働省ホームページ、メールマガジン、SNSを活用した広報	広報誌「厚生労働」、厚生労働省のホームページ、メールマガジン、SNS等を通じて、「明治150年」ポータルサイトや「明治150年」関連施策推進ロゴマークを紹介するとともに、厚生労働省や民間団体の取組に関する周知・広報を行い、「明治150年」に係る機運を醸成している。 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌（「厚生労働」平成30年1月号） ・ホームページ（平成30年1月30日開設） ・メールマガジン（平成29年10月下旬から12月下旬にかけて複数回配信） ・SNS（平成29年10月26日にツイッター配信） 平成30年4月以降も、引き続き、広報を推進していくこととしている。

【農林水産省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	水田開拓等の歴史から学ぶ	<p>明治期を中心とした水田開拓等の歴史について、資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行い、SNSやメールマガジンにより発信したり、関係団体と連携したイベント等での展示や企画を平成30年秋頃に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月4日から6日 平成30年度大会講演会（（公社）農業農村工学会） ・平成30年10月16日 第41回全国土地改良大会宮城大会（全国土地改良事業団体連合会）
2	品種改良など農業分野の研究開発の歴史から学ぶ	<p>国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と連携し、明治期における農業分野の研究開発について、平成30年秋頃までに、品種改良の歴史や、農事試験場の開設による農業技術の飛躍的な発展等に関する資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行うとともに、シンポジウムを開催する。</p>
3	明治期の蚕糸業の歴史から学ぶ	<p>（一財）大日本蚕糸会等と連携して、世界一の生糸輸出を支えた明治期の蚕糸業の歴史に関する資料のデジタルアーカイブ化を行い、ホームページ等で公開するとともに、明治から昭和期の養蚕や製糸技術等に関するパネルを作成し、イベント等において展示を行う。また、「明治期の蚕糸業に学ぶ」をテーマとしてシンポジウムを開催する。</p>
4	明治期以降の林業の発展の歴史から学ぶ	<p>森林・林業施策に関して、明治期に法制化された旧森林法に基づく森林荒廃の復旧や明治期の国有化以降、森林の保全等を本格化した国有林野事業等について、関連する資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行い、平成30年4月に開設したホームページ、及び広報誌等で公開するとともに、森林管理局が平成30年10月までに開催予定のイベント等でパネル作成・展示を行う。</p>
5	酪農・乳業の歴史から学ぶ	<p>（一社）Jミルクと連携し、明治以降の酪農・乳業の発展の歴史に関する関連資料の収集・整理・デジタルアーカイブ化を行うとともに、平成30年11月を目途に収集・整理・デジタルアーカイブ化した資料をJミルク関連ホームページで公開する。また資料を活用して展示パネルを作成し学習型シンポジウムを開催する。</p>
6	明治期の食や食品製造発展の歴史から学び、現代の「食」や「栄養」を考える	<p>明治期の食と栄養の概念や明治期に発展、成長した食品製造業等について、食品産業事業者及び有識者、その他関係機関にヒアリングを実施し、資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行うとともに、ウェブページやSNSによる情報発信や、動画・パネルの作成、展示を行う。</p>
7	明治期以降の漁業の発展の歴史から学ぶ	<p>水産研究・教育機構と連携し、同機構が所蔵する古文書等の展示を行っている。</p>
8	外食産業との連携による情報発信等	<p>外食産業の民間企業と連携し、ポスターやチラシの掲示、共通ステッカーの配付等を通じた情報発信の取組を平成30年夏頃から実施する。</p>
9	食育推進全国大会における講演や展示等の実施	<p>平成30年6月23日、24日に大分県と共催する第13回食育推進全国大会において、明治期の食生活や明治期以降の食生活の変遷等に関する有識者による講演や展示等を行う。</p>

10	明治期までのバイオマス利用から循環型社会の形成を学ぶ	平成30年10月中下旬を目途に、バイオマス産業都市認定証授与式において、認定証授与者から明治初頭までの衛生的な循環型社会の構築に関する紹介等を行う。
11	「農林水産祭」における明治150年記念シンポジウムの開催	平成30年12月に「農林水産祭」の一環の行事として（公財）日本農林漁業振興会と連携し、明治期にゆかりのある蚕糸業をテーマに、過去蚕糸業で天皇杯を受賞した者を招聘し、「明治150年」記念シンポジウムとして開催する。
12	「実りのフェスティバル」における明治150年記念関連事業の実施	平成30年11月2日から3日開催の「実りのフェスティバル」（農林水産省による施策の紹介や都道府県等による農林水産物の販売などを行うイベント）において、（公財）日本農林漁業振興会と連携し、明治150年を記念したブースを開設する。
13	白書等への明治関連記事の掲載	平成29年度食料・農業・農村白書、森林・林業白書及び水産白書において、それぞれ、明治期の農業、林業及び水産業や、明治から現在までの歩み等、明治150年に関連したページ等を設ける。また、食育白書においても、明治期における食生活の転換や、明治期以降の食生活の変遷等、明治150年に関連したページ等を設ける。
14	全国の「消費者の部屋」での展示	本省や全国の地方農政局等の「消費者の部屋」において、明治期の農業、林業及び水産業や、明治から現在までの歩み等、明治150年に関連した展示を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月7日から18日 農林水産本省 ・平成30年5月から10月の間の1ヶ月程度（予定） 北海道農政事務所 ・平成30年5月下旬から6月中旬（予定） 関東農政局 ・平成30年5月下旬又は8月（予定） 東海農政局 ・平成30年7月9日から20日（予定） 九州農政局 ・平成30年8月13日から24日（予定） 近畿農政局 ・平成30年9月3日から28日（予定） 北陸農政局 ・平成30年9月25日から10月5日（予定） 中国四国農政局 ・平成30年10月1日から5日（予定） 沖縄総合事務局 ・平成30年10月16日から31日（予定） 東北農政局

【経済産業省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	日本の産業と経済に貢献した明治期の研究成果の紹介	国立研究開発法人産業技術総合研究所の歴史は明治15年(1882年)に始まっており、日本の産業と経済に貢献した明治期の研究成果を紹介するホームページを作成する。（平成30年4月公開予定）
2	明治150年記念登録証（商標）	商標の登録証について、出願人の希望に応じ、明治時代の登録証と同様のデザインの復刻版を記念追加発行する。

3	特許に関する「明治150年」関連イベントの実施	「巡回特許庁」など特許庁が開催するイベント等において、明治期から今日に至る科学技術・産業の発展や、それに係る特許、商標等の推移を紹介するとともに、明治期に活躍した主要発明家等に関するパネル、当時の特許公報など特許庁が保有する明治ゆかりの品を展示する。
4	明治期より続く伝統工法で作られた伝統製品の海外展開事例の紹介	ジェットロの国際ビジネス情報番組「世界は今」において、明治期より続く伝統工法で作られた伝統産品を海外に輸出している企業等の取組を紹介する。平成30年2月21日に日経CNBCで放映し、インターネットで配信するとともに、ジェットロが実施するセミナーや商談会等のイベントにおいても活用している。さらに、平成30年6月に日本航空国際線の機内エンターテイメントでも放映予定。
5	白書等での特集	経済産業省作成の各種白書等において、以下のとおり明治150年関連の特集を掲載する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり白書において、明治期に設立された企業の取組事例等を紹介する。 ・中小企業白書又は小規模企業白書において、明治設立の中小企業の経営努力や成長に向けた取組事例等を紹介する。 ・通商白書において、明治期の殖産興業施策を通じた日本企業の輸出に向けた取組事例等を紹介する。 ・エネルギー白書において、明治から現在までの日本のエネルギー開発・利用の歴史を振り返る企画を掲載する。 ・特許庁が毎年発行している「年次報告書」において、明治期の産業財産権に関する特集を掲載する。 ・平成30年3月26日に公表した「はばたく中小企業・小規模事業者300社」において、明治より継続して活躍している中小企業を特記して取組を紹介した。
6	地質の日ロビー展示 日本一長い国立研究所の歴史－地質図で見るGSJの135年－（仮）	経済産業省本館1階正面ロビーにて、平成30年5月1日から6月1日まで、近代日本の発展を支えるため明治初期から作成されてきた地質図を展示し、その歴史を紹介する。
7	地質標本館2018年度 春の特別展 関東平野と筑波山－関東平野の深い地質のお話－	産業技術総合研究所地質標本館にて、平成30年4月17日から7月1日まで、ヒトの暮らしと地質や地形との関係について考える特別展の一環として、明治期における地表の遺物採集・発掘により考古学分野で注目されるようになった、関東地方有数の規模を持つ上高津貝塚が作られた縄文時代の環境や人々についての展示と講演を行う。
8	地質標本館 2018年度 秋の特別展 明治からつなぐ地質の知恵（仮）	産業技術総合研究所地質標本館にて、平成30年9月から12月頃（予定）まで、明治初期から作成された北海道の地質図を展示・紹介するとともに、近代日本の発展を支えるため採掘されてきた石炭をはじめ、北海道の地質に関連する展示を行う。
9	地質標本館 2018年度 冬の特別展 様々な地質図：重力図から土壌評価基本図まで（仮）	産業技術総合研究所地質標本館にて、平成30年12月から2019年2月頃（予定）まで、近代日本の発展を支えるため明治初期から作成されてきた重力図や土壌評価基本図等、様々な地質図を展示・紹介する。

10	地質情報展2018北海道 明治からつなぐ地質の知恵	産業技術総合研究所地質調査総合センター他が、北海道立道民活動センターにて、平成30年9月7日から9月9日まで、明治初期から作成された北海道の地質図を展示・紹介するとともに、近代日本の発展を支えるため採掘されてきた石炭をはじめ、北海道の地質に関連する展示を行う。
11	所管法人・民間団体との連携・支援のための体制構築	全所管法人・所管団体との間で連絡窓口を開設し、連携体制を構築するとともに、文書を発出して取組を要請する。

【国土交通省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	明治期の公共土木施設等に関する情報発信	明治期に建設・築造等が行われた公共土木施設等について、建設・築造等の経緯や指揮を執った技術者・企業等について情報を整理し、ホームページ等により発信する。
2	明治期の公共土木施設等に関連するインフラツーリズムの推進	インフラ管理者として、明治期の土木施設・建築物とそれらを建設した企業の協力を得つつ、官民及び地域による体制づくりを支援し、ホームページで発信するなど、インフラツーリズムを推進している。 また、平成30年度に実施する観光まちづくりに係るコンテストにおいて『インフラツーリズム』という観点での開催が可能となった場合、コンテスト事務局に対して「明治150年」にちなむ内容を盛り込むことを促す。
3	訪日プロモーション事業	明治期の建築物や文化・歴史等について、JNTOオウンドメディアにより海外に向けて情報発信を行うとともに、明治に由来する観光地等に海外メディア及び旅行会社を招請した。 ・平成29年9月24日から27日 JNTOが行う海外旅行者及びメディア向けに実施するビジットジャパントラベル&MICEマートのファムトリップの訪問先に明治日本の産業革命遺産である「旧集成館」及び「グラバー邸」を組み込んで実施した。 ・平成29年10月5日 JNTOフェイスブックで明治日本の産業革命遺産アプリの情報を発信した。 ・平成30年2月8日、23日 台湾向けフェイスブックで明治日本の産業革命遺産に関係する観光地を紹介した。 ・JNTOが台湾の雑誌に明治日本の産業遺産への訪問を促す特集記事の掲載を行う事業を行い、平成30年2月号及び3月号に特集記事を掲載した。
4	明治期の歴史を探訪する旅の開発	平成30年に開催予定の明治150年関連行事を活用したツアー、明治期に由来する建築物を訪ねるツアーなど、明治期の文化・歴史・風俗等を盛り込んだ旅行商品の開発を旅行者に促し、1,312本のツアーが実施又は実施予定となっている。

5	明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用のための明治記念大磯邸園（仮称）の整備	「明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組に関する検討会」の報告書を踏まえ、関係府省と連携し、地元の地方公共団体（神奈川県、大磯町）等との適切な役割分担のもと、神奈川県大磯町にある旧伊藤博文邸等を中心とする建物群及び緑地を「明治記念大磯邸園（仮称）」として整備し、建物群等の一体的、有機的な保存・活用を図る。平成29年11月の閣議決定に基づき、明治改元月に当たる平成30年10月を目途に、一部の建物を含む区域の公開を目指し、整備を推進する。
6	海外日本庭園再生プロジェクト	明治期に欧米で開催された万国博覧会を契機に作庭された日本庭園の修復について、平成30年4月にモデル事業に着手する。
7	土木学会と国土交通省の連携によるイベントの開催	土木学会が主催するイベントにおいて、土木学会及び国土交通省が連携して「明治150年」に関連したパネルの展示、講演等の広報展開を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月15日 第3回土木史サロン「近代土木の礎を築いたパイオニアたち」 ・平成29年11月20から24日 土木コレクション2017/東京 橋と土木展「未来の東京を見つけに、土木を巡る。」 ・平成29年11月23日 土木の日シンポジウム2017 ・平成30年2月発行 日本初の「土木偉人かるた」を発売 平成30年夏以降は、 <ul style="list-style-type: none"> ・土木学会誌における明治150年特集記事を掲載予定（平成30年8月号） ・全国大会(夏開催予定) などの各種イベントを開催予定である。
8	公共建築関係イベント等における広報展開	平成30年に行われる公共建築関連団体のイベント（公共建築月間等）の機会を活かして明治150年をテーマとしたパネル展示等の広報展開を行う。
9	土地制度に関するシンポジウムの企画	平成30年10月に、明治期の土地制度について理解を深めながら、人口減少社会に対応した土地制度のあり方について考えるシンポジウムを実施する。
10	国営武蔵丘陵森林公園における関連イベントの開催	平成30年10月から11月を目途に、明治百年記念事業の一環として整備された国営武蔵丘陵森林公園において、「明治150年記念」を冠するイベントを実施する。

11	建築関係イベントにおける明治期に活躍した建築家等の紹介等	<p>平成30年に行われる建築関係イベントにおいて、明治期に活躍した建築家等を紹介するとともに、住宅・建築関連団体のイベント等の機会を活用して明治150年関連施策についての広報展開を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月25日～9月17日 「建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの」（森美術館） ・平成30年9月10日～14日 「ACA18 TOKYO」（日本建築家協会） ・平成30年10月開催予定 住生活月間中央イベント
12	鉄道博物館等における特別展示等の開催	<p>日本における鉄道との出会い、明治維新の主人公たち及び我が国の鉄道の黎明期を支えた外国人（エドモンド・モレルなど）の活躍、その後の日本人の自立による鉄道技術の進化等を紹介する企画展等を要請し、以下の展示等が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年10月14日から平成30年1月28日 京都鉄道博物館 鉄道遺産をたずねて ・平成29年10月21日から12月3日 長浜鉄道スクエア 今に生きる歴史的駅舎展 ・平成30年1月1日から12月31日 JR北海道本社1Fギャラリー及び北海道鉄道技術博物館特別展示 ・平成30年3月17日から4月23日、および11月（2週間～1ヶ月程度を予定） 博物館明治村 「明治天皇御料車」及び「昭憲皇太后御料車」の内部特別公開
13	鉄道フェスティバルにおける明治期の鉄道に関する展示等の実施	平成30年10月上旬頃開催予定の鉄道事業者、協賛企業等による展示・物販ブース展開等を行う「鉄道フェスティバル」において、明治期の鉄道に関するパネル展示に向けて調整中である。
14	練習船の寄港地での一般公開開催時におけるパネル展示等の実施	平成30年に練習船が寄港地で実施する「一般公開」開催時において、明治150年に関連する「明治期の船員教育等」に関するパネル展示や広報等の実施に向けて調整中である。
15	北海道が行う記念行事等への協力・支援	<p>平成30年に北海道が行う記念行事等への協力・支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月14日 「ほっかいどう学」の学びを考えるシンポジウム ・平成30年4月～11月予定 「平成30年度 公共施設見学ツアー」
16	明治期の地図等のデジタルアーカイブ化の推進及び展示等	国土地理院が保有する明治期の地図等について、平成29年度にデジタルアーカイブ化を行い、平成30年3月12日から同院ホームページで公開しており、平成30年10月から12月を目途に展示を行う。また、国・地方公共団体が行う明治150年関連の記念イベントや関連事業において、デジタルアーカイブ化した地図等を提供する。
17	明治以降に刊行された海図の収集、デジタルアーカイブ化の推進及び展示	明治以降に刊行された海図の収集、デジタルアーカイブ化を平成29年度に行い、海上保安庁ホームページで公開しており、平成30年3月2日～5月30日に明治150年を記念して展示を行う。

18	日本水準原点の維持管理及び原点近傍への電子基準点の設置	明治期に建設され現存する日本水準原点について、引き続き維持管理を行う。このため、平成29年9月から11月の間、維持管理のための水準測量を実施した。 明治以来の測量技術と現代の測量技術をつなぐモニュメントとしての意味も込めて、平成30年3月に日本水準原点近傍に電子基準点「東京千代田」を設置し、東京湾平均海面からの水準測量により得られる日本水準原点の高さと、宇宙測地技術により得られる電子基準点の高さを直接関係付けている。
19	明治期に建設され現存する灯台等の原型保存等	明治期に建設され現存する以下の灯台等について、計画的な保全管理の実施など原型保存、維持管理の継続を行う。
		・石狩灯台（明治41年）：原型保存による維持管理 ・中ノ鼻灯台（明治27年）：原型保存による維持管理
		・細島駿潮場（明治26年）：維持管理の継続
20	灯台150年記念式典及び灯台記念日における灯台の一般公開等を明治150年関連事業に位置づけて実施	我が国初の洋式灯台である「観音崎灯台」の起工日である明治元年11月1日にちなんで11月1日を「灯台記念日」と定めており、平成30年の「灯台記念日」前後に記念式典を開催する予定であり、当該式典を明治150年関連事業としても位置づける。また、灯台150周年記念として、全国各地の灯台における一般公開において各種イベントを計画しており、これらを明治150年関連事業としても位置づける。
21	明治期に作成された灯台図面の保存及び貸出	平成29年度に明治期に作成された灯台の図面について、保存管理・整理を実施し、今後、写真パネル等による展示などへの貸出要請に積極的に対応することとしている。
22	国土交通省の関連団体と連携した明治150年にかかる機運の醸成	関連団体向けのパンフレット等でロゴマークの使用を推進する等、明治150年にかかる機運の醸成を図る。
23	国土交通関連企業・業界団体等が保有する歴史資料等を用いた明治150年関連の取組促進	国土交通関連企業・業界団体等が保有する歴史資料等を用いた明治150年関連の取組の実施について企業・業界団体等に協力を要請する。

24	白書等での特集	<p>国土交通省等作成の各種白書等において、以下のような明治150年関連の特集を掲載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通白書において、明治期における社会インフラの整備についてコラム掲載する。 ・交通政策白書において、交通政策に係る明治から現在までの歩み等を紹介する。 ・土地白書において、明治期に整備された土地制度について、明治期から150年経過した現在までの状況について掲載する。 ・首都圏白書において、明治期における東京のまちづくりについてコラム掲載する。 ・水循環白書において、明治期の水との関わり方等について紹介する。 ・海事レポートにおいて、明治期における海事産業等について紹介する。 ・観光白書において、明治期に由来する建造物、歴史・文化の観光資源としての活用等について、コラム掲載する。 ・海上保安レポートにおいて、明治期に建設され現在まで活躍している灯台の保存措置等の海上保安庁による取組などについて紹介する。
25	各種記念日における関連事業の実施	<p>各記念日において、以下のとおり明治150年関連の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の日」（平成30年は7月16日）関連イベントとして、明治丸の活用等、明治時代と海運等について取り上げた行事の実施に向けて調整中である。 ・「水の日」（8月1日）に実施している「水を考えるつどい」において、明治期における水との関わり方などに関するパネル展示等の実施に向けて調整中である。 ・平成30年の「水路記念日」（9月12日）のテーマを「明治150年」とし、明治期に刊行された海図等の展示等を各管区海上保安本部において実施する。 ・「空の日」（9月20日）関連イベントとして、羽田空港において、明治から現在にいたる航空関連写真の展示を行う。

【環境省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	明治150年新宿御苑特別展示（菊花壇展等）	<p>実施のために必要な経費が予算措置されることを前提とし、新宿御苑等において例年11月1日から15日に実施している菊花壇展を、明治150年記念事業として位置づけ、例年の取組に加えて以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菊栽培所特別公開 ・ボランティアによる菊花壇解説 ・明治150年菊花壇歴史展（明治時代の写真等の解説板を設置） ・11月3日の無料開放 <p>その他、皇室由来の洋ラン等明治以来の植物を受け継ぐ温室での洋ラン展の充実など明治期の遺産にちなむ取組を行う。</p>
2	「明治150年」温泉地PR	<p>明治期は、箱根強羅、熱海、別府など、国民の保健・休養を目的とした観光地としての温泉地が発達した時代であり、明治150年を期に、我が国の温泉地の歴史やその魅力を広くPRする。</p>

3	明治150年狩猟応援プロジェクトの実施	明治6年に現在の狩猟免許制度の前身である鳥獣猟規則が制定され、本規則により狩猟の安全管理が開始されたことを踏まえ、狩猟の社会的意義の普及等の一層の推進を行う「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」を明治150年を冠して実施する。
4	明治期の日本の自然環境に関する資料の収集・整理及び公開	海外から称賛された明治期の自然環境について、当時の地形図や写真等の自然環境に関する資料を収集・整理し、みどりフェスタ（平成30年4月）、エコライフ・フェア（平成30年6月）などの機会も活用して、広く国民に紹介する。
5	3R推進全国大会	3R推進全国大会の実施にあたり、広報物等に明治150年のロゴマーク等を使用し広く国民への周知と理解を広める。 ※3R=リデュース・リユース・リサイクル

【防衛省】

番号	①施策名	②施策の概要
1	市ヶ谷記念館における特別展示	防衛省「市ヶ谷台ツアー」における見学施設の一つである市ヶ谷記念館において、明治時代の歴史的な展示物のコーナーを設け特別展示を行うよう準備を進めている。
2	防衛研究所における特別展示	防衛研究所戦史研究センター史料室の所蔵史料を使用して、平成30年1月17日から「明治150年」にちなんだ特別展示をエントランスホールで実施している。 ①戦争記（戊辰戦争）、②西郷隆盛の遺体発見電報（西南戦争）、③日本海海戦電報（日露戦争）、④帝国国防方針（明治40年）
3	明治時代の医療技術に関する資料の展示	陸上自衛隊衛生学校彰古館に保管している明治時代における軍事に関する医療技術資料や医療機器等の展示を実施予定である。
4	明治時代の科学技術関連史料の展示	防衛装備庁陸上装備研究所で保管する明治時代に執筆された科学技術関連史料の展示を実施予定である。
5	善通寺駐屯地庁舎改修等事業（仮称）	陸上自衛隊善通寺駐屯地が管理する明治時代に建設された庁舎について、改修等の事業を行うための設計を平成30年度から31年度に行う。
6	「明治150年」関連の防衛問題セミナーの開催	地方防衛局主催の防衛問題セミナーにおいて、「明治150年」に関連する講演を実施する。